

神戸

神戸支局

〒650-0023
神戸市中央区栄町通4の3の5

TEL 078(371)3221
FAX 078(371)7615

kobe@mainichi.co.jp

【通信機関】

明石 078(918)1682
三木 0794(82)1240

【ご購読は】

神戸毎日舎
中央区元町通5の3の1
078(351)1881

【広告のご用は】

078(371)3231

おつけもの
大安
だ い や す



本店：京都・平安神宮東

0120-05-7172

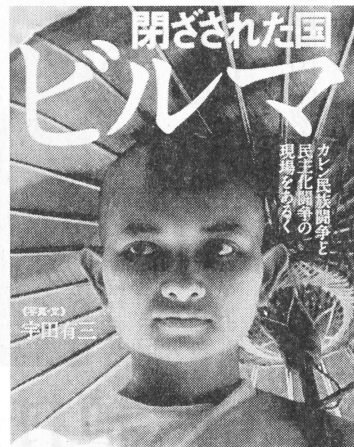
http://www.daiyasu.jp/

93年、ビルマ取材を開始。武装闘争が続けるカレン民族解放軍が活動する密林やタイ国境の難民キャンプ、チベット仏教の村――。

本では「カエル井」

写真誌出版

「役目消えることはない」

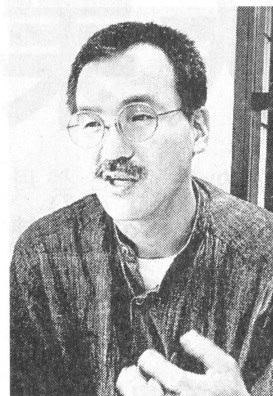


宇田有三さんが出版した「閉ざされた国ビルマ」

外国人が足を踏み入れない7州7管区を踏破した稀有なジャーナリストとなった。宇田有三さんが出版した「閉ざされた国ビルマ」は238頁、17国(090・6066・9435)。

神戸市立中学の英語教諭を務めた後、米ボストンの専門学校でジャーナリズムを学んだ。中米エルサルバドルを皮切りに、紛争や抑圧に苦しむ人々の取材を続ける。

闘争の現場 歩き続けた集大成



軍事政権下のビルマ(ミャンマー)に通い詰めるフォトジャーナリスト、宇田有三さん(46)が、宇田さんは「社会や人々にかかわる限りジャーナリスト、写真家の役目は消えることはない」と語る。

フォトジャーナリスト・神戸の宇田さん

平和発展評議会議長が率いる軍事政権に反対して民主化闘争を続ける人々に加え、市井の暮らしにもページを割いた。07年9月にジャーナリスト、長井健司さんが兵士に射殺された現場でも、緊迫する街をカメラに収めた。

インパール作戦の舞台となり、今も貿易などで深くかわる日本とビルマ。タイ国境の危機感からだ。

第82回選抜高校野球大会(毎日新聞社、日本高校野球連盟主催)に出場する神港学園の豊田稔校長、北原光広監督、後藤誠部長が16日、神戸市を表敬訪問。矢田立郎市長は「今年のは震災から15年の節目。当時の経験を基に戦ってほしい」と激励

を食べながら、軍に追われて山中を逃れる国内避難民を取材したエピソードなども詳述。最大都市ヤンゴンで監視の目をかいくぐりながら、タンシュエ工国家平和発展評議会議長が率いる軍事政権に反対して民主化闘争を続ける人々に加え、市井の暮らしにもページを割いた。07年9月にジャーナリスト、長井健司さんが兵士に射殺された現場でも、緊迫する街をカメラに収めた。

田さんは「政治的発言はおろか移動も恋愛も自由にできない中で60年余りを過ごしてきた人々を無視するのは、ジャーナリズムの怠慢」と語る。

だが、そんな「正義感」は徐々に氷解する。「同じ空気を吸い、食べ物や口にしても、外国人には分からない現実がある」。次第に「暮らしに根ざした100年後に通じる写真を残せないか」と考えるようになった。「大声の人が幅をきかせ、声を上げられない人は無視される。ジャーナリズムの疲弊で権力監視機能が働かない」という日本社会にも共通する危機感からだ。

「謙虚にナイスゲームを」

神港学園監督らが市長訪問

